

# 特記仕様書

## 1 業務名

避難誘導標識等設置業務

## 2 履行期間

契約締結日から令和7年11月28日まで

## 3 業務内容

### (1) 複柱式津波災害警戒区域標識の作製・設置

ア 作製・設置数は、3基とする。

イ 設置場所は、次の3箇所とし、詳細な位置は、別途発注者が指示する。

(ア) 陸前高田市高田町字中宿67-1（高田松原海水浴場第一駐車場内）

(イ) 陸前高田市高田町字曲松122（高田松原運動公園第一駐車場内）

(ウ) 陸前高田市高田町字曲松122（高田松原運動公園第四駐車場内）

ウ 標識の構造については、(ア)は看板2枚を標識柱（柱2本）に取り付けるものとし、  
(イ)及び(ウ)は看板1枚を標識柱（柱2本）に取り付けるものとする。詳細は、別紙1  
「複柱式津波災害警戒区域標識設置図」を参照すること。

エ 看板の意匠については、別紙2「複柱式津波災害警戒区域標識看板意匠」を参考に  
受注者で案を作成し、発注者の承諾を得たうえで作製に着手すること。

オ 看板に使用する図記号は、日本産業規格(JISZ8210)において規格化された統一標  
識による避難場所図記号（津波）とし、文字のフォント、大きさ等の詳細については、  
日本産業規格(JISZ9097)に基づいたものとする。

カ 使用する素材は、屋外での長期使用を前提とすることから、日本産業規格  
(JISZ9097)に準じ、耐水性・耐候性等を考慮した素材で、かつ歩行者が怪我しないよ  
う、安全面に十分配慮した素材とすること。また、看板に使用する素材は、次の通り  
とすること。

- ・ 上段（津波災害警戒区域の表示）

日本産業規格(JISZ9117)において規格化された再帰性反射シート

- ・ 下段（避難場所等の表示、(ア)のみ）

蓄光製品（「4 蓄光性能」の基準を満たすもの）

キ 看板表示面のデザインは、UVラミインクジェット印刷又はカッティングシート  
等で表記すること。

### (2) 単柱式避難誘導標識の作製・設置

ア 作製・設置数は、2基とする。

イ 設置場所は、次の2箇所とする。

ただし、場所の詳細については、別途発注者が指示する。

(ア) 陸前高田市高田町字川原114-1付近（市道曲松中和野線上）

(イ) 陸前高田市高田町字長砂51-5付近（市道長砂東和野線上）

ウ 標識の構造は、看板1枚を標識柱（単柱）に取り付けるものとし、詳細は、別紙3「単柱式避難誘導標識設置図」を参照すること。

エ 看板の意匠については、別紙4「単柱式避難誘導標識看板意匠」を参考に受注者で案を作成し、発注者の承諾を得たうえで作製に着手すること。

なお、看板に使用する図記号は、日本産業規格(JISZ8210)において規格化された統一標識による避難場所図記号（津波）とし、名称や矢印方向、文字のフォント、大きさ等の詳細については、日本産業規格(JISZ9097)に基づいたものとする。

オ 使用する素材は、屋外での長期使用を前提とすることから、日本産業規格(JISZ9097)に準じ、耐水性・耐候性等を考慮した素材とすること。また、歩行者が怪我をしないよう、安全面に十分配慮した素材とすること。

カ 看板表示面のデザインは、UVラミインクジェット印刷又はカッティングシート等で表記すること。

### (3) 電柱巻付式避難誘導標識の撤去及び設置

ア 撤去数及び設置数は、いずれも8枚ずつとする。

イ 撤去及び設置場所は、別紙5「電柱巻付式避難誘導標識撤去及び設置場所一覧」を参照のこと。

ただし、場所の詳細については、別途発注者が指示する。

ウ 標識は、発注者の指定する電柱にステンレスバンド等の取付用部材により固定し、設置すること。

なお、設置にあたっては、標識底部の位置が地上高1.8m以上となるようにすること。

エ 標識の意匠については、別紙6「電柱巻付式避難誘導標識意匠」を参考に受注者で案を作成し、発注者の承諾を得たうえで作製に着手すること。

オ 設置する標識の材質は、屋外耐候性が高く、曲面に馴染むものとする。また、屋外での長期利用を前提とし、日本産業規格(JISZ9097)に準じ、耐水性・耐候性等を考慮した素材とすること。また、歩行者が怪我をしないよう、安全面に十分配慮した素材を使用すること。

カ 表示面の図記号及び矢印の素材には、日本産業規格(JISZ9117)において規格化された再帰性反射シートを使用すること。それ以外のデザインは、屋外用シート又はそれと同等とし、市の指定する内容を表示し、仕上げはカッティングシート・ラミネート仕上げに準ずる仕上げとすること。

キ 図記号は、日本産業規格(JISZ8210)において規格化された統一標識による避難場所図記号（津波）とし、名称や矢印方向、文字のフォント、大きさ等の詳細については、日本産業規格(JISZ9097)に基づき、作製前に発注者と協議し決定すること。

ク 撤去した電柱巻付式避難誘導標識及び取付用部材については、受注者の責任において、適切に処分すること。

### (4) 業務報告書の作成

(1)、(2)の施工状況が分かるよう、標識ごとに設置（撤去）前、設置（撤去）作業中、設置（撤去）完了後の写真、設置場所を地図上に明記したものを転載した台帳を作成すること。

なお、業務報告書は、データ（CD-R等）も併せて提出すること。

#### 4 蓄光性能

- (1) 夜間及び停電時の円滑な避難のため、高輝度蓄光材を用いた全面蓄光の標識及び看板とすること。
- (2) 蓄光材の発光性能については、屋外における夜間の停電時に遠方からでも看板を視認できるよう看板の表側が全面発光するものとし、日本産業規格（JISZ9097）に準じ、紫外線強度（測定波長域 360～480nm） $400\mu\text{W}/\text{cm}^2$ で 60 分間照射し、照射を止めた後、720 分後のりん光輝度が  $10\text{mcd}/\text{m}^2$ 以上の性能を有することとし、その試験報告書を添付すること。
- (3) 海岸付近に設置するため、日本産業規格（JIS9096）の全適合品であること。
- (4) 蓄光材の発行色は、青緑色とすること。

#### 5 業務の完成

- (1) 本業務は、発注者の行う完成検査の合格をもって、完成したものとする。
- (2) 本業務完了後、受注者は、発注者に完成届（別添様式）を提出することとし、発注者は、受注者から完成届が提出された後、速やかに完成検査を実施するものとする。

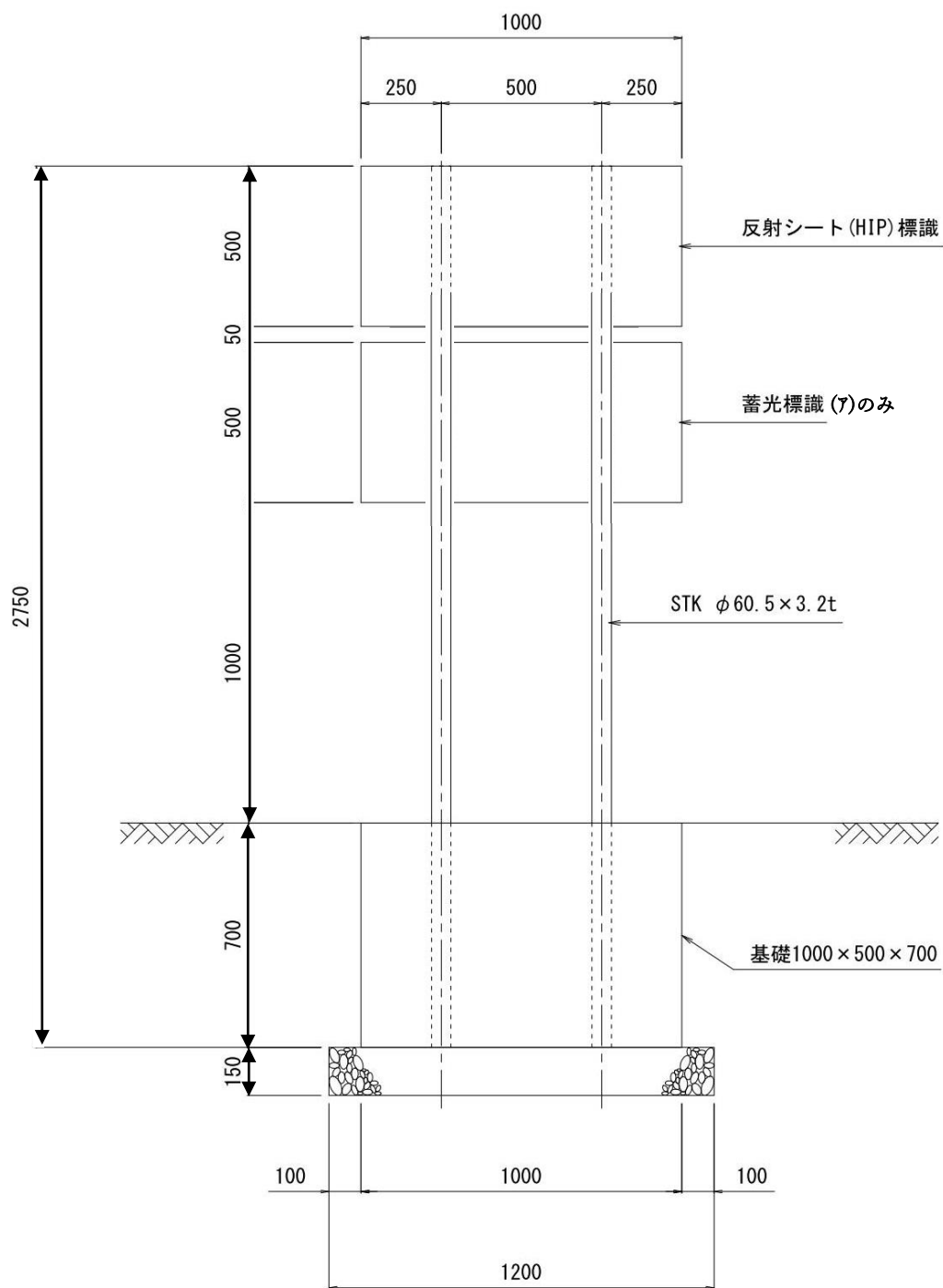
#### 7 その他

- (1) 標識の作製に先立ち、設置場所の現地確認を行ったうえで、工程や標識の意匠等について発注者と打ち合わせを行うこと。
- (2) 標識の設置にあたっては、周囲の安全を十分に確認し、事故の無いよう細心の注意を払うこと。  
万一、事故が発生した場合は、直ちに発注者へ報告するとともに、受注者の責任及び負担において、速やかに必要な処置を行うこと。
- (3) 標識の設置場所は、いずれも入札時点における案であり、管理者等との調整により変更となる場合があるため、予め承知しておくこと。
- (4) 本仕様書の記載内容に関する疑義や本仕様書に記載のない事項については、発注者の指示を仰ぐこと。

#### 7 問い合わせ先

〒029-2205 陸前高田市高田町字栃ヶ沢 210 番地 2  
陸前高田市防災局防災課 担当 黒田  
電話 0192-54-2111（内線 703）／FAX 0192-55-2648

## 複柱式津波災害警戒区域標識設置図



## 複柱式津波災害警戒区域標識看板意匠

上段

反射標識

H500mm×W1000mm



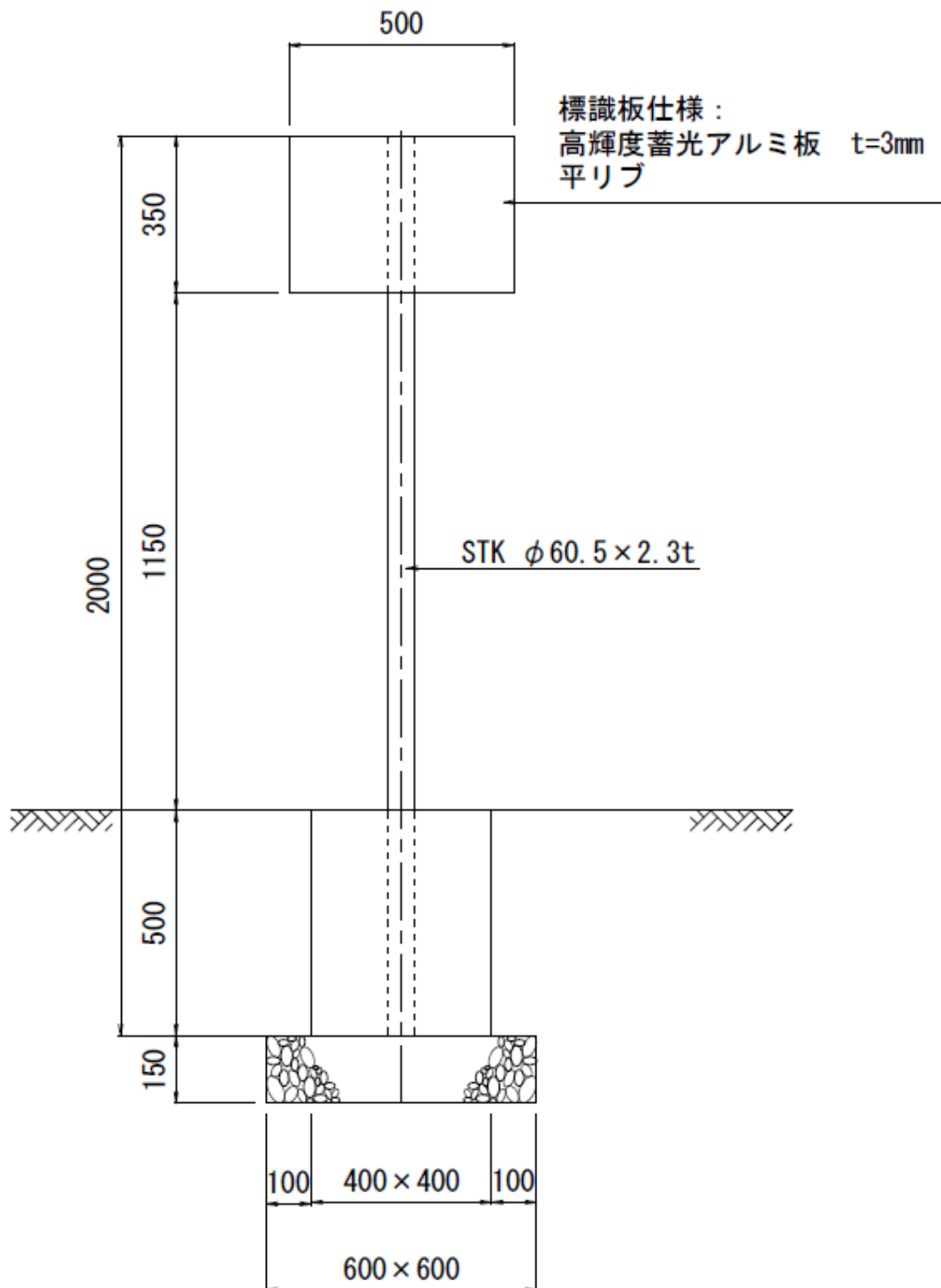
下段 ((ア)のみ)

蓄光標識

H500mm×W1000mm



単柱式避難誘導標識設置図



## 単柱式避難誘導標識看板意匠

蓄光標識

H350mm×W500mm



## 電柱巻付式避難誘導標識撤去及び設置場所一覧

所在地	撤去数	設置数	設置する標識の意匠			
			避難場所	箇所番号	矢印の向き	距離
陸前高田市小友町字門前 85-2 付近	1 枚	1 枚	華蔵寺	0T-32		180m
陸前高田市小友町字泉田 163 付近	1 枚	1 枚	華蔵寺	0T-32		160m
陸前高田市小友町字門前 5-4 付近	1 枚	1 枚	華蔵寺	0T-32		240m
陸前高田市小友町字門前 84-9 付近	2 枚	2 枚	華蔵寺	0T-32		320m
						
陸前高田市小友町字谷地 前 39-1 付近	2 枚	2 枚	華蔵寺	0T-32		470m
						
陸前高田市小友町字新田 前 74 付近	1 枚	1 枚	華蔵寺	0T-32		550m
計	8 枚	8 枚				



## 電柱巻付式避難誘導標識意匠

蓄光標識

H850mm×W300mm

